

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
112	拓殖大学	国際特別講座 (実践のまちづくりI)	徳永 達己 国際学部 教授ほか	2	前期	木	13	15:45～17:30	拓殖大学 八王子国際キャンパス	5

【授業の目的及び到達目標】

本講座は、実際のコミュニティ開発、まちづくり活動などのフィールドワークを通じて、開発プロジェクトの企画立案から事業実施、評価に至る一連の過程を経験することにより、まちづくり活動の理解を深めることを目的としている。到達目標は、この実践により地域活性化事業や地方創生に資する基礎的な能力を身に付けることである。なお本講座は、後期に開講される国際特別講座（実践のまちづくり II）の先行科目である。

【授業内容】

- 実践まちづくり学①はじめに、まちづくりとは何か
まちづくりとは何か、本講座の紹介、フィールドワーク演習の進め方
- 実践まちづくり学②地方創生のカタチづくりに挑む！
実践！まちづくり「はじめの一步」思考法
- 実践まちづくり学③プロジェクトYターン！戦略（1）
地域をデザインする活動（学生参加型「まちづくりDIY」の挑戦）
- 実践まちづくり学④プロジェクトYターン！戦略（2）
国際交流「日本を知る」プロジェクト（失敗から学んだ地域との関係性）
- 実践まちづくり学⑤プロジェクトYターン！戦略（3）
地域ブランディング創生プロジェクト（「郷土料理みみ」新レシピはこうして生まれた）
- 実践まちづくり学⑥これまでの八王子市滝山地区の活動
本授業を通じて八王子市滝山地区で取り組んできた地域活性化活動の紹介
- プロジェクト演習（八王子市滝山地区）①
現地の実情を調べる「現地視察・情報収集」（滝山地域）
- プロジェクト演習（八王子滝山地区）②
地域の課題について知る「関係者ヒアリング・課題発見」（滝山地域）
- 実践まちづくり学⑦プロジェクトYターン！戦略（4）
山梨県立大学と拓殖大学の対流事業プロジェクト（クラウドファンディング）
- 実践まちづくり学⑧なぜ地域創生が必要か
事例研究1：観光地の地域活性化
- 実践まちづくり学⑨なぜ地域創生が必要か
事例研究2：B級グルメ
- プロジェクト演習（八王子地区）③
地域の課題解決方法を考える「プロジェクトの企画・提案」（滝山地域）
- 実践まちづくり学⑩なぜ地域創生が必要か／まとめ
事例研究3：団地再生
前期のまとめと学びのフィードバック

※拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

【授業の方法】

本講座は、教室で行う①座学（教科書を用いた授業）、②事例研究、および③フィールドワークによるプロジェクト演習（八王子市滝山地区）の3つの授業形態により構成される。また最終授業において講義全体のフィードバックを行う。

【予習・復習】

その日に演習で行った作業、発見した課題項目をしっかりと記録しておくことは必須である。予習、復習については、教科書などフィールドワークに関する専門書で深めて欲しい。授業日以外にも、プロジェクトの準備をすることも重要である。

【成績評価方法】

成績は授業における議論の参加度（70%） レポート提出（30%）により評価する。また授業日以外にもプロジェクトの準備をしなくてはならない場合もあり、それらの積極性も評価する。

【参考書、教材等】

- ①教科書
・徳永達己・永見豊・工藤芳彰監修『実践まちづくり学』大空出版・2019年
- ②参考書
・谷口守、『実践地域・まちづくりワーク』森北出版、2018年
・西村幸夫『まちづくり学』朝倉書店、2007年
・徳永達己『地方創生の切り札LBT』、2017年
・佐原隆幸・徳永達己『国際協力アクティブ・ラーニング』弘文堂、2016年

※ この授業は、4/13（木）が初回です。